

壁展示

「昭和元禄落語心中」B2 パネル3 枚
「昭和元禄落語心中」カラーイラスト原画 7 枚
モノクロ原画・下絵 6 枚
ネームノート 1 冊
「昭和元禄落語心中」名台詞・名シーン B3 パネル 7 枚
高座風セット

テーブル型ケース展示

「船を編む」カラー原画 13 枚
書籍『船を編む』（三浦しをん，光文社，2011 年 9 月）
三浦しをんコラム抜粋（『on BLUE』2011 年 vol. 6，祥伝社）

台付ケース

文化庁メディア芸術祭 受賞トロフィー
色紙

映像展示

「昭和元禄落語心中」プロモーション映像
雲田はるこ先生によるカラーイラスト制作風景
カラー原画（書き下ろし，2014 年）
ネームノート複製ファイル 1 冊

展示期間

期間：6 月 6 日（金）～9 月 28 日（日）
第一期：6 月 6 日（金）～7 月 7 日（月） / 第二期：7 月 11 日（金）～8 月 4 日（月）
第三期：8 月 7 日（金）～9 月 8 日（月） / 第四期：9 月 12 日（金）～9 月 28 日（日）
休館日：毎週火・水・木曜（ただし祝日は開館）
※特別整理などで休館する場合があります。当館 HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■「寄席に行こうぜ！」

展示担当者によるギャリートーク&新宿末廣亭寄席鑑賞
日時：6 月 14 日（土）11:00-16:30（お昼の部を鑑賞します）
場所：米沢嘉博記念図書館 1 階展示室・新宿末廣亭
料金：無料 ※寄席見学には 3000 円の入場料が必要です。
~~事前申込制。15 名まで。当館メールフォームよりお申し込みください。~~
※申し込みは締め切りました。

■「雲田マンガの話しよう」

講師：福田里香、金田淳子、横井周子
日時：7 月 27 日（日）16:00-17:30
場所：米沢嘉博記念図書館 2 階閲覧室
料金：無料 ※別途入館料 300 円がかかります。
■「落語聴こうぜ！」 リバティアカデミー鳥取連携オープン講座
出演：桂まん我
日時：2014 年 1 月 25 日（土）17:00-18:30
場所：明治大学グローバルフロント多目的室
料金：無料 ※事前申込制。9 月 3 日（水）10:30 より申込開始。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014 年度 第 1 回 企画コーナー展示品リスト

文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞記念展
『昭和元禄落語心中』と雲田はるこ ～落語に行こうぜ！～

展示期間

6 月 6 日（金）～9 月 28 日（日）

第一期：6 月 6 日（金）～7 月 7 日（月）
第二期：7 月 11 日（金）～8 月 4 日（月）
第三期：8 月 7 日（金）～9 月 8 日（月）
第四期：9 月 12 日（金）～9 月 28 日（日）

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

協力

講談社

「昭和元禄落語心中」は、2010 年より『ITAN』誌で連載されている、現在最も注目を集めている落語マンガです。同作は高評を得て、昨年度の文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。

「昭和元禄落語心中」は作中での落語シーンから、噺の見所をあえて外してみたりしています。それで本物の落語の続きを見たくって、生の落語を聞きに行つて頂けたらなと思っております。

（雲田はるこ）

この言葉の通り、本作には読む者を落語に行きたくさせる力があります。雲田の作品群を見渡すと、その題材やジャンルを問わず、物語の展開やキャラクターに対する興味だけでなく、描かれた題材自体について関心をかきたてる力をそれぞれ宿しています。表紙挿絵やイラストカットなど、マンガ以外の作品においてもそれは変わりません。

本展示では、「昭和元禄落語心中」を中心に、カラー原画をはじめとする貴重な資料をジャンル別に展示しました。雲田作品の持つ魅力を感じとっていただければ幸いです。

<p style="text-align: center;">R008</p> <p style="text-align: center;">カバー担当書籍</p> <p>『ダメBL』(ブックマン, 2011年11月) 『マンガと音楽の甘い関係』(高野麻衣, 太田出版, 2013年1月) 『書店男子』(リブレ, 2013年9月) 『萌え男子がけたり』2(ブックマン, 2010年12月) 『ユリイカ』2012年12月号 (青土社, 2012年11月)</p>	<p style="text-align: center;">R007</p> <p>カラー原画「マンガと音楽の甘い関係」カバー用イラスト (2013年)</p>	<p style="text-align: center;">R006</p> <p>カラー原画「マンガと音楽の甘い関係」カバー用イラスト (2013年)</p>	<p style="text-align: center;">R005</p> <p style="text-align: center;">表紙担当雑誌</p> <p>原画「Cab」2010年VOL. 7表紙 「Cab」2010年VOL. 7 (東京漫画社, 2010年5月) 『シントロン』vol. 3, vol. 13, vol. 19 『oriBLUE』vol. 6(祥雲社, 2012年7月) 『ビーボーイゴールド』2013年12月号 『いとしの猫っ毛』3巻(雲田はるこ, リブレ, 2014年4月) 『まるごとねこっけ「いとしの猫っ毛」トリビューとブック』(雲田はるこ, リブレ, 2014年4月)</p>	<p style="text-align: center;">R004</p> <p style="text-align: center;">「昭和元禄落語心中」単行本</p> <p>『昭和元禄落語心中』1-5巻 (雲田はるこ, 講談社, 2011年7月, 2012年1月, 10月, 2013年6月, 2014年2月) 『昭和元禄落語心中』4巻特装版(雲田はるこ, 講談社, 2013年6月)</p>	<p style="text-align: center;">R003</p> <p style="text-align: center;">「ITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』11, 15-19号 (講談社, 2013年4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2014年2月)</p>	<p style="text-align: center;">R002</p> <p style="text-align: center;">「ITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』7-10, 12-14号 (講談社, 2011年9月, 12月, 2012年3月, 6月, 9月, 12月, 2013年2月)</p>	<p style="text-align: center;">R001</p> <p style="text-align: center;">「ITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』零-6号 (講談社, 2010年03月, 6月, 9月, 12月, 2011年3月, 6月)</p>
<p style="text-align: center;">R016</p> <p style="text-align: center;">落語シーンその3 与太郎 動画(5分6秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より</p>	<p style="text-align: center;">R015</p> <p style="text-align: center;">落語シーンその2 助六 動画(11分47秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」高座シーン モノクロ原画「八雲と助六篇 其の二」より</p>	<p style="text-align: center;">R014</p> <p style="text-align: center;">落語シーンその1 八雲 動画(6分43秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の二」より</p>	<p style="text-align: center;">R013</p> <p style="text-align: center;">効果音 その3 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『ITAN』vol. 3, 講談社, 2010年12月)</p>	<p style="text-align: center;">R012</p> <p style="text-align: center;">効果音 その2 八雲と助六篇 其の一より</p> <p>モノクロ原画「八雲と助六篇 其の一」より (『ITAN』vol. 6, 講談社, 2011年9月)</p>	<p style="text-align: center;">R011</p> <p style="text-align: center;">効果音 その1 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『ITAN』vol. 3, 講談社, 2010年12月)</p>	<p style="text-align: center;">R010</p> <p style="text-align: center;">扉絵ギャラリー-2 八雲と助六篇 其の二より</p> <p>モノクロ原画「八雲と助六篇 其の二」扉(『ITAN』vol. 7, 講談社, 2011年12月)</p>	<p style="text-align: center;">R009</p> <p style="text-align: center;">扉絵ギャラリー-1 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」扉(『ITAN』vol. 3, 講談社, 2010年12月)</p>
<p style="text-align: center;">R024</p> <p style="text-align: center;">「野ばら」ポップ用原画 他2枚</p> <p>カラー原画「野ばら」ポップ用 カラー原画「Lullaby of Birdland」クリスマスカード用 モノクロ原画 TMAP 用イラスト</p>	<p style="text-align: center;">R023</p> <p style="text-align: center;">「窓辺の君」ポップ用イラスト 原画・下絵</p> <p>カラー原画「窓辺の君」ポップ用</p>	<p style="text-align: center;">R022</p> <p style="text-align: center;">「野ばら」カバー用原画</p> <p>カラー原画「野ばら」背表紙</p>	<p style="text-align: center;">R021</p> <p style="text-align: center;">「野ばら」カバー用原画</p> <p>カラー原画「野ばら」表紙 書籍『野ばら』(雲田はるこ, 東京漫画社, 2010年7月)</p>	<p style="text-align: center;">R020</p> <p style="text-align: center;">「窓辺の君」扉絵原画</p> <p>モノクロ原画「窓辺の君」扉</p>	<p style="text-align: center;">R019</p> <p style="text-align: center;">「窓辺の君」単行本カバー原画3</p> <p>カラー原画「窓辺の君」裏表紙</p>	<p style="text-align: center;">R018</p> <p style="text-align: center;">「窓辺の君」単行本カバー原画2</p> <p>カラー原画「窓辺の君」表紙 カラー原画「窓辺の君」カバー折り返し部分</p>	<p style="text-align: center;">R017</p> <p style="text-align: center;">「窓辺の君」単行本カバー原画1</p> <p>カラー原画「窓辺の君」表紙 書籍『窓辺の君』(雲田はるこ, 東京漫画社, 2009年5月)</p>
<p style="text-align: center;">R032</p> <p style="text-align: center;">「ウィズネイルと僕」ハウスシアター</p> <p>カラー原画 ハウスシアターパンフレット用2枚</p>	<p style="text-align: center;">R031</p> <p style="text-align: center;">「メガネ男子」</p> <p>カラー原画 『ぽふ』2011年4月号表紙 『ぽふ』2011年4月号 (雑草社, 2011年2月)</p>	<p style="text-align: center;">R030</p> <p style="text-align: center;">落語関連 エッセイ・コラムなど</p> <p>モノクロ原画 『KISS』用コラム(KISS14号, 講談社, 2011年7月) モノクロ原画 『ユリイカ』特集*立川談志用イラストエッセイ(青土社, 2012年1月号)2枚 モノクロ原画 『comic スピカ』リレーエッセイ『原画終わったらアレしたい!』用(comic スピカ16号, 幻冬舎, 2013年1月)</p>	<p style="text-align: center;">R029</p> <p style="text-align: center;">雲田はる子とばら</p> <p>モノクロ原画「窓辺の君」p24 モノクロ原画「ばらの森にいた頃」p6 雲田家お庭のばら写真</p>	<p style="text-align: center;">R028</p> <p style="text-align: center;">アシスタント時代</p> <p>『BE・LOVE』2004年1月号(講談社) 『ピアニシモでささやいて第二楽章』1~3, 6, 8~9巻(石塚夢見, 講談社, 2004年8月, 8月, 2005年1月, 11月, 2006年5月, 6月)</p>	<p style="text-align: center;">R027</p> <p style="text-align: center;">KING of POP</p> <p>※別紙をご参照ください</p> <p>小学生時代の文集 色紙「ハットリシンゾウ」(忍者ハットリくん) 色紙「ドラえもん」</p>	<p style="text-align: center;">R026</p> <p style="text-align: center;">KING of POP</p> <p>※別紙をご参照ください</p>	<p style="text-align: center;">R025</p> <p style="text-align: center;">マンガ関連</p> <p>※別紙をご参照ください</p>

●R025

「河童の三平」(水木しげる, 筑摩書房, 1988年6月)
「戦後少女マンガ史」(米沢嘉博, 筑摩書房, 2007年8月)
「マンガの描き方 似顔絵から長編まで」(手塚治虫, 光文社, 1996年7月)
「これでいいのだ 赤塚不二夫自叙伝」(赤塚不二夫, 文藝春秋, 2008年10月)
「石ノ森章太郎のマンガ家入門」(石ノ森章太郎, 秋田書店, 1998年10月)
「まんが道」1巻(藤子不二雄A, 中央公論社, 1996年6月)
「赤塚不二夫1000ページ」(赤塚不二夫, 扶桑社, 1998年12月)
「I LOVE HER」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1993年5月)
「ハニバニ!」1巻(いくえみ綾, 集英社, 2000年9月)
「バラ色の明日」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1997年9月)
「変奏曲」1巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「変奏曲」2巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「動物のお医者さん」1巻(佐々木倫子, 白泉社, 1989年4月)
「トーマの心臓」1巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「トーマの心臓」2巻(萩尾望都, 小学館, 1975年4月)
「トーマの心臓」3巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「大長編ドラえもん4 のびたの海底鬼岩城」(藤子・F・不二雄, 小学館, 1983年6月)
「うる星やつら」1巻(高橋留美子, 小学館, 1980年4月)
「男おいどん」1巻(松本零士, 講談社, 1979年11月)
「キャンディとチョコボンボン」(大矢ちき, 集英社, 1974年10月)
「ここはグリーン・ウッド」1巻(那州雪絵, 白泉社, 1987年1月)
「V-K☆カンパニー」(山口美由紀, 白泉社, 1985年10月)
「荒野の天使ども」1巻(ひかわきょうこ, 白泉社, 1983年12月)
「綿の国星」(大島弓子, 白泉社, 1978年6月)
「ポケットの中の君」(冬野さほ, 集英社, 1993年12月)
「うさぎ月夜に星の船」1巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年3月)
「うさぎ月夜に星の船」2巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年7月)
「うさぎ月夜に星の船」3巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年12月)
「天然コケッコ」1巻(くらもちふさこ, 集英社, 1995年7月)
「スウェイン・イン・ディ・エア」(雁須磨子, スコラ, 1996年12月)
「春を抱いていた」1巻(新田祐克, ビブロス, 1999年4月)
「おかめ日和」(入江喜和, 講談社, 2007年4月)
「冗談新選組」(みなもと太郎, イーストプレス, 2003年12月)
「純情クレイジーフルーツ 続編」1巻(松苗あけみ, 集英社, 1985年11月)
「星の時計のLiddell」1巻(内田善美, 集英社, 1985年9月)
「唇から散弾銃」1巻(岡崎京子, 講談社, 1989年8月)
「唇から散弾銃」2巻(岡崎京子, 講談社, 1990年4月)
「雨宮雪氷」(津野裕子, 青林堂, 1994年8月)
「竹宮恵子のマンガ教室」(竹宮恵子, 筑摩書店, 2001年6月)
「摩利と新吾」1巻(木原敏江, 秋田書店, 1988年1月)
「まんがバカなのだ」赤塚不二夫展 出展作品図録(株式会社フジオ・プロダクション)

●R026

「円山応挙 生涯と作品」(樋口一貴, 東京美術, 2013年3月)
「歌川国芳 生涯と作品」(恵俊彦, 東京美術, 2008年3月)
「伊藤若冲 生涯と作品」(佐藤康宏, 東京美術, 2011年7月)
「色川武大1929-1989」(筑摩書房, 1991年5月)
「Snap」(ビクターブックス, 2001年12月)
DVD「落語研究会 柳家小三治全集」
(小学館, 株式会社ソニー・ミュージックダイレクト, 2007年9月)
DVDBOX「傷だらけの天使」1巻(日本テレビ, 東宝テレビ部, 2001年7月)
DVD「枝雀 落語大全」第一集(TBS, 関西テレビ, 2002年)



雲田はるこ略歴

栃木県出身。2002年ごろから趣味でマンガを描き始める。

アシスタント経験を経て、2008年「窓辺の君」にて商業誌デビュー(東京漫画社/カタログシリーズVOL.12掲載)、男性同士の恋愛ファンタジーであるBL(ボーイズ・ラブ)ジャンルでの活動を開始。

2009年初単行本「窓辺の君」を刊行。BLの代表作に「いとしの猫っ毛」シリーズ(リブレ出版)、「新宿ラッキーホール」(祥伝社)がある。

2010年「ITAN」(講談社)創刊零号より「昭和元禄落語心中」を連載開始。

同作で、2014年、第17回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞、

同年第38回講談社漫画賞一般部門受賞。三浦しをんの小説「舟を編む」挿絵(2011年)、「ユリイカ特集BLオンザラン!」(2012年)表紙、評論本「マンガと音楽の甘い関係」(高野麻衣/2013年)表紙など、さまざまな方面のイラストの仕事も注目に値する。



壁展示

「昭和元禄落語心中」B2 パネル3枚
「昭和元禄落語心中」カラーイラスト原画5枚
モノクロ原画・下絵6枚

ネームノート1冊

「昭和元禄落語心中」名台詞・名シーンB3 パネル7枚
高座風セット

テーブル型ケース展示

「船を編む」カラー原画12枚
書籍『船を編む』（三浦しをん、光文社、2011年9月）
三浦しをんコラム抜粋（『on BLUE』2011年vol.6、祥伝社）

台付ケース

文化庁メディア芸術祭 受賞トロフィー
色紙

映像展示

「昭和元禄落語心中」プロモーション映像
雲田はるこ先生によるカラーイラスト制作風景
書き下ろしカラーイラスト複製（2014年）
ネームノート複製ファイル1冊

展示期間

期間：6月6日（金）～9月28日（日）

第一期：6月6日（金）～7月7日（月） / 第二期：7月11日（金）～8月4日（月）

第三期：8月7日（金）～9月8日（月） / 第四期：9月12日（金）～9月28日（日）

休館日：毎週火・水・木曜（ただし祝日は開館）

※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■「雲田マンガの話をしよう」

講師：福田里香、金田淳子、横井周子

日時：7月27日（日）16:00～17:30

場所：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室

料金：無料 ※別途入館料300円がかかります。

■「落語聴こうぜ！」 リバティアカデミー鳥取連携オープン講座

出演：桂まん我

日時：2014年1月25日（土）17:00～18:30

場所：明治大学グローバルフロント多目的室

料金：無料 ※事前申込制。9月3日（水）10:30より申込開始。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第1回 企画コーナー展示品リスト

文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞記念展

『昭和元禄落語心中』と雲田はるこ ～落語に行こうぜ！～

展示期間

6月6日（金）～9月28日（日）

第一期：6月6日（金）～7月7日（月）

第二期：7月11日（金）～8月4日（月）

第三期：8月7日（金）～9月8日（月）

第四期：9月12日（金）～9月28日（日）

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

協力

講談社

「昭和元禄落語心中」は、2010年より『ITAN』誌で連載されている、現在最も注目を集めている落語マンガです。同作は高評を得て、昨年度の文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。

「昭和元禄落語心中」は作中での落語シーンから、囃の見所をあえて外してみたりしています。それで本物の落語の続きを見たくなって、生の落語を聞きに行つて頂けたらなと思っております。

（雲田はるこ）

この言葉の通り、本作には読む者を落語に行きたくさせる力があります。雲田の作品群を見渡すと、その題材やジャンルを問わず、物語の展開やキャラクターに対する興味だけでなく、描かれた題材自体について関心をかきたてる力をそれぞれ宿しています。表紙挿絵やイラストカットなど、マンガ以外の作品においてもそれは変わりません。

本展示では、「昭和元禄落語心中」を中心に、カラー原画をはじめとする貴重な資料をジャンル別に展示しました。雲田作品の持つ魅力を感じとっていただければ幸いです。

<p>R008</p> <p>カバー担当書籍</p> <p>原画「ユリイカ2013年12月号」表紙 『ユリイカ』2013年12月号 (青土社 2013年12月) 『ダメBL』(ブクマン、2011年11月) 『マンガと音楽の甘い関係』 (高野麻衣 太田出版 2013年1月) 『書店男子』(リブレ、2013年9月) 『萌え男子がたり』2 (ブクマン2010年12月)</p>	<p>R007</p> <p>表紙担当書籍</p> <p>『まるごとねこっけ』 (リブレ、2014年4月) 原画「まるごとねこっけ」表紙</p>	<p>R006</p> <p>表紙担当雑誌</p> <p>『Citron』19号 (リブレ、2013年5月) 原画「Citron19号」表紙</p>	<p>R005</p> <p>表紙担当雑誌</p> <p>原画「Citron」2012年13号表紙 『Citron』2012年3号、13号 (リブレ、2010年7月、2012年3月) 『orBLUE』vol.6(祥伝社 2012年7月) 『ビーボーイゴールド』2013年12月号 『Cab』2010年VOL.7 (東京漫画社 2010年5月) 『ぼる』2011年4月号 (雑草社 2011年2月)</p>	<p>R004</p> <p>「昭和元禄落語心中」 単行本</p> <p>『昭和元禄落語心中』1-5巻(雲田はるこ、講談社、2011年7月、2012年1月、10月、2013年6月、2014年2月) 『昭和元禄落語心中』4巻特装版(雲田はるこ、講談社、2013年6月)</p>	<p>R003</p> <p>「ITAN」と 「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』11.15-19号 (講談社、2013年4月、6月、8月、10月、12月、2014年2月)</p>	<p>R002</p> <p>「ITAN」と 「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』7-10.12-14号 (講談社、2011年9月、12月、2012年3月、6月、9月、12月、2013年2月)</p>	<p>R001</p> <p>「ITAN」と 「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』零-6号 (講談社、2010年03月、6月、9月、12月、2011年3月、6月)</p>
<p>R016</p> <p>落語シーンその3 与太郎 動画(5分6秒)</p> <p>iPad 動画「昭和元禄落語心中」 高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より</p>	<p>R015</p> <p>落語シーンその2 助六 動画(11分47秒)</p> <p>iPad 動画「昭和元禄落語心中」 高座シーン モノクロ原画「八雲と助六篇 其の二」より</p>	<p>R014</p> <p>落語シーンその1 八雲 動画(6分43秒)</p> <p>iPad 動画「昭和元禄落語心中」 高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の二」より</p>	<p>R013</p> <p>効果音 その3 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『ITAN』vol.3、講談社、2010年12月)</p>	<p>R012</p> <p>効果音 その2 八雲と助六篇 其の一より</p> <p>モノクロ原画「八雲と助六篇 其の一」より (『ITAN』vol.6、講談社、2011年9月)</p>	<p>R011</p> <p>効果音 その1 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『ITAN』vol.3、講談社、2010年12月)</p>	<p>R010</p> <p>「昭和元禄落語心中」 扉絵ギャラリー</p> <p>モノクロ原画「八雲と助六篇 其の六」より (『ITAN』Vol.11、講談社、2012年12月)</p>	<p>R009</p> <p>「昭和元禄落語心中」 扉絵ギャラリー</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の二」より (『ITAN』Vol.1、講談社、2010年6月)</p>
<p>R024</p> <p>「いとしの猫っ毛」 その他</p> <p>原画「web告知用イラスト」(2010年) 原画「サイン会カード用イラスト」(2011年) 原画「ポップ用イラスト」(2011年) 原画「寒中お見舞い用イラスト」(2011年)</p>	<p>R023</p> <p>「いとしの猫っ毛」</p> <p>ドラマCD「いとしの猫っ毛」 (キューエックレーベル、2011年) 原画「ドラマCDカバー用イラスト」(2011年) 原画「ドラマCDメッセージカード」(2011年) 原画「ドラマCDアフコレポマンガ」 (Citron vol.10、リブレ、2011年)</p>	<p>R022</p> <p>「いとしの猫っ毛」 関連登場人物紹介 その2</p> <p>モノクロ原画2枚 「登場人物紹介」ハレくん、キタハラさん(単行本2巻) 「登場人物紹介」なっちゃん、ゆっち、おばあちゃん(単行本2巻)</p>	<p>R021</p> <p>「いとしの猫っ毛」 関連登場人物紹介 その1</p> <p>モノクロ原画3枚 「登場人物紹介」けいちゃん、みいくん(単行本1巻) 「登場人物紹介」ボンちゃん、ヨ一コさん、ケンタ(単行本1巻) 「登場人物紹介」屋間さん、火野さん(単行本1巻)</p>	<p>R020</p> <p>「いとしの猫っ毛」 モノクロ原画</p> <p>モノクロ原画「いとしの猫っ毛」14話扉(シトロン vol.9、リブレ出版、2011年7月) モノクロ原画「いとしの猫っ毛」25話扉(BE・BOY GOLD2月号、リブレ出版、2013年12月)</p>	<p>R019</p> <p>「いとしの猫っ毛」 3巻カバーイラスト</p> <p>『いとしの猫っ毛』3巻(リブレ、2014年) カラー原画「いとしの猫っ毛」3巻表紙 カラー原画「いとしの猫っ毛」3巻裏表紙</p>	<p>R018</p> <p>「いとしの猫っ毛」 2巻カバーイラスト</p> <p>『いとしの猫っ毛』2巻(リブレ、2012年) カラー原画「いとしの猫っ毛」2巻表紙 カラー原画「いとしの猫っ毛」2巻裏表紙</p>	<p>R017</p> <p>「いとしの猫っ毛」 1巻カバーイラスト</p> <p>『いとしの猫っ毛』1巻(リブレ、2011年) カラー原画「いとしの猫っ毛」1巻表紙 カラー原画「いとしの猫っ毛」1巻裏表紙</p>
<p>R032</p> <p>イラストエッセイ</p> <p>カラー原画「まんがキッチンおかわり」OPマンガ2枚(福田里香/著、太田出版、2014年) カラー原画 福田里香コラム「本日の差し入れ」用カット (『旅』2011年7月号～2012年1月号、新潮社)</p>	<p>R031</p> <p>カラー原画『書店男子』表紙 (リブレ、2013年) カラー原画『書店男子』裏表紙 (リブレ、2013年) 原画「理系男子」特集用挿絵 (『CLASSY』2011年6月号、光文社)</p>	<p>R030</p> <p>落語関連 エッセイ・コラムなど</p> <p>モノクロ原画「KISS」用コラム(KISS14号、講談社、2011年7月) モノクロ原画「ユリイカ」特集*立川談志用イラストエッセイ(青土社、2012年1月号)2枚 モノクロ原画「comicスピカ」リレーエッセイ「原画終わったらアレしたい!」用(comicスピカ16号、幻冬舎、2013年1月)</p>	<p>R029</p> <p>雲田はる子とばら</p> <p>モノクロ原画「窓辺の君」p24 モノクロ原画「ばらの森にいた頃」p6 雲田家お庭のばら写真</p>	<p>R028</p> <p>アシスタント時代</p> <p>『BE・LOVE』2004年1月号(講談社) 「ピアノシモでささやいて第二楽章」1～3.6.8・9巻(石塚夢見、講談社、2004年8月、8月、2005年1月、11月、2006年5月、6月)</p>	<p>R027</p> <p>小学生時代の文集 色紙「ハットリシンゾウ」 (忍者ハットリくん) 色紙「ドラえもん」</p>	<p>R026</p> <p>KING of POP</p> <p>※別紙をご参照ください</p>	<p>R025</p> <p>マンガ関連</p> <p>※別紙をご参照ください</p>

●R025

「河童の三平」(水木しげる, 筑摩書房, 1988年6月)
「戦後少女マンガ史」(米沢嘉博, 筑摩書房, 2007年8月)
「マンガの描き方 似顔絵から長編まで」(手塚治虫, 光文社, 1996年7月)
「これでいいのだ 赤塚不二夫自叙伝」(赤塚不二夫, 文藝春秋, 2008年10月)
「石ノ森章太郎のマンガ家入門」(石ノ森章太郎, 秋田書店, 1998年10月)
「まんが道」1巻(藤子不二雄A, 中央公論社, 1996年6月)
「赤塚不二夫1000ページ」(赤塚不二夫, 扶桑社, 1998年12月)
「I LOVE HER」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1993年5月)
「ハニバニ!」1巻(いくえみ綾, 集英社, 2000年9月)
「バラ色の明日」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1997年9月)
「変奏曲」1巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「変奏曲」2巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「動物のお医者さん」1巻(佐々木倫子, 白泉社, 1989年4月)
「トーマの心臓」1巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「トーマの心臓」2巻(萩尾望都, 小学館, 1975年4月)
「トーマの心臓」3巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「大長編ドラえもん4 のびたの海底鬼岩城」(藤子・F・不二雄, 小学館, 1983年6月)
「うる星やつら」1巻(高橋留美子, 小学館, 1980年4月)
「男おいどん」1巻(松本零士, 講談社, 1979年11月)
「キャンディとチョコボンボン」(大矢ちき, 集英社, 1974年10月)
「ここはグリーン・ウッド」1巻(那州雪絵, 白泉社, 1987年1月)
「V-K☆カンパニー」(山口美由紀, 白泉社, 1985年10月)
「荒野の天使ども」1巻(ひかわきょうこ, 白泉社, 1983年12月)
「綿の国星」(大島弓子, 白泉社, 1978年6月)
「ポケットの中の君」(冬野さほ, 集英社, 1993年12月)
「うさぎ月夜に星の船」1巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年3月)
「うさぎ月夜に星の船」2巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年7月)
「うさぎ月夜に星の船」3巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年12月)
「天然コケッコ」1巻(くらもちふさこ, 集英社, 1995年7月)
「スウェイン・イン・ディ・エア」(雁須磨子, スコラ, 1996年12月)
「春を抱いていた」1巻(新田祐克, ビブロス, 1999年4月)
「おかめ日和」(入江喜和, 講談社, 2007年4月)
「冗談新選組」(みなもと太郎, イーストプレス, 2003年12月)
「純情クレイジーフルーツ 続編」1巻(松苗あけみ, 集英社, 1985年11月)
「星の時計のLiddle」1巻(内田善美, 集英社, 1985年9月)
「唇から散弾銃」1巻(岡崎京子, 講談社, 1989年8月)
「唇から散弾銃」2巻(岡崎京子, 講談社, 1990年4月)
「雨宮雪氷」(津野裕子, 青林堂, 1994年8月)
「竹宮恵子のマンガ教室」(竹宮恵子, 筑摩書店, 2001年6月)
「摩利と新吾」1巻(木原敏江, 秋田書店, 1988年1月)
「まんがバカなのだ 赤塚不二夫展 出展作品図録(株式会社フジオ・プロダクション)

●R026

「円山応挙 生涯と作品」(樋口一貴, 東京美術, 2013年3月)
「歌川国芳 生涯と作品」(恵俊彦, 東京美術, 2008年3月)
「伊藤若冲 生涯と作品」(佐藤康宏, 東京美術, 2011年7月)
「色川武大1929-1989」(筑摩書房, 1991年5月)
「Snap」(ビクターブックス, 2001年12月)
DVD「落語研究会 柳家小三治全集」
(小学館, 株式会社ソニー・ミュージックダイレクト, 2007年9月)
DVDBOX「傷だらけの天使」1巻(日本テレビ, 東宝テレビ部, 2001年7月)
DVD「枝雀 落語大全」第一集(TBS, 関西テレビ, 2002年)



雲田はるこ略歴

栃木県出身。2002年ごろから趣味でマンガを描き始める。

アシスタント経験を経て、2008年「窓辺の君」にて商業誌デビュー(東京漫画社/カタログシリーズVOL.12掲載)、男性同士の恋愛ファンタジーであるBL(ボーイズラブ)ジャンルでの活動を開始。

2009年初単行本「窓辺の君」を刊行。BLの代表作に「いとしの猫っ毛」シリーズ(リブレ出版)、「新宿ラッキーホール」(祥伝社)がある。

2010年「ITAN」(講談社)創刊零号より「昭和元禄落語心中」を連載開始。

同作で、2014年、第17回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞、

同年第38回講談社漫画賞一般部門受賞。三浦しをんの小説「舟を編む」挿絵(2011年)、「ユリイカ特集BLオンザラン!」(2012年)表紙、評論本「マンガと音楽の甘い関係」(高野麻衣/2013年)表紙など、さまざまな方面のイラストの仕事も注目に値する。



壁展示

「昭和元禄落語心中」B2 パネル3枚

「昭和元禄落語心中」カラーイラスト原画6枚
モノクロ原画・下絵5枚

ネームノート1冊

「昭和元禄落語心中」名台詞・名シーンB3 パネル7枚

高座風セット

テーブル型ケース展示

「船を編む」カラー原画12枚

書籍『船を編む』（三浦しをん、光文社、2011年9月）

三浦しをんコラム抜粋（『on BLUE』2011年vol.6、祥伝社）

台付ケース

文化庁メディア芸術祭 受賞トロフィー

色紙

映像展示

「昭和元禄落語心中」プロモーション映像

雲田はるこ先生によるカラーイラスト制作風景

カラー原画（書き下ろし、2014年）

ネームノート複製ファイル3冊

展示期間

期間：6月6日（金）～9月28日（日）

第一期：6月6日（金）～7月7日（月） / 第二期：7月11日（金）～8月4日（月）

第三期：8月8日（金）～9月8日（月） / 第四期：9月12日（金）～9月28日（日）

休館日：毎週火・水・木曜（ただし祝日は開館）

※特別整理などで休館する場合があります。当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■「落語聴こうぜ！」 リバティアカデミー鳥取連携オープン講座

出演：桂まん我

日時：2014年1月25日（土） 17:00～18:30

場所：明治大学グローバルフロント多目的室

料金：無料 ※事前申込制。9月3日（水）10:30より申込開始。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014年度 第1回 企画コーナー展示品リスト

文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞記念展

『昭和元禄落語心中』と雲田はるこ ～落語に行こうぜ！～

展示期間

6月6日（金）～9月28日（日）

第一期：6月6日（金）～7月7日（月）

第二期：7月11日（金）～8月4日（月）

第三期：8月8日（金）～9月8日（月）

第四期：9月12日（金）～9月28日（日）

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

協力

講談社

「昭和元禄落語心中」は、2010年より『ITAN』誌で連載されている、現在最も注目を集めている落語マンガです。同作は高評を得て、昨年度の文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。

「昭和元禄落語心中」は作中での落語シーンから、囁の見所をあえて外してみたりしています。それで本物の落語の続きを見たくって、生の落語を聞きに行つて頂けたらなと思っております。

（雲田はるこ）

この言葉の通り、本作には読む者を落語に行きたくさせる力があります。雲田の作品群を見渡すと、その題材やジャンルを問わず、物語の展開やキャラクターに対する興味だけでなく、描かれた題材自体について関心をかきたてる力をそれぞれ宿しています。表紙挿絵やイラストカットなど、マンガ以外の作品においてもそれは変わりません。

本展示では、「昭和元禄落語心中」を中心に、カラー原画をはじめとする貴重な資料をジャンル別に展示しました。雲田作品の持つ魅力を感じとっていただければ幸いです。

<p>R008</p> <p>表紙担当書籍</p> <p>『ユリイカ』2013年12月号(青土社、2013年12月)/『ダメBL』(ブックマン、2011年11月)/『マンガと音楽の甘い関係』(高野麻衣、太田出版、2013年1月)/『書店男子』(リブレ、2013年9月)/『萌え男子がたり』2(ブックマン2010年12月)/『ライトBLへようこそ』(桜雲社/編、アスペクト、2012年)</p>	<p>R007</p> <p>表紙担当書籍原画</p> <p>「萌え男子語り2」 カバーイラスト原画 (2010年)</p>	<p>R006</p> <p>表紙担当雑誌原画</p> <p>「Citron」2010年VOL3 表紙イラスト原画 (2010年)</p>	<p>R005</p> <p>表紙担当雑誌</p> <p>『窓辺の君』(東京漫画社、2009年5月)/『野ばら』(東京漫画社、2010年7月)/『いとしの猫っ毛』1~3巻(リブレ、2011年~2014年)/『まるごとねこっけ』いとしの猫っ毛 トリビューとブック』(リブレ、2014年4月)/『いとしの猫っ毛 小樽編』(リブレ、2013年)/『ぼふ』2011年4月号(雑草社、2011年2月)/『Cab』2010年VOL.7(東京漫画社、2010年5月)/『シントロン』vol.3、vol.13、vol.19(リブレ、2010年7月、2012年3月、2013年5月)/『onBLUE』vol.6(祥伝社、2012年7月)/『ビーボーイゴールド』2013年12月号(リブレ、2013年)</p>	<p>R004</p> <p>「昭和元禄落語心中」単行本</p> <p>『昭和元禄落語心中』1-6巻 (雲田はるこ、講談社、2011年7月、2012年1月10月、2013年6月、2014年2月、2014年8月) 『昭和元禄落語心中』4巻特装版(雲田はるこ、講談社、2013年6月)</p>	<p>R003</p> <p>「ITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』11.15-19号 (講談社、2013年4月、6月、8月、10月、12月2014年2月)</p>	<p>R002</p> <p>「ITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』7-10.12-14号 (講談社、2011年9月、12月、2012年3月、6月、9月、12月、2013年2月)</p>	<p>R001</p> <p>「ITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『ITAN』零-6号 (講談社、2010年03月、6月、9月、12月、2011年3月、6月)</p>
<p>R016</p> <p>落語シーンその3 与太郎 動画(5分6秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」 高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より</p>	<p>R015</p> <p>落語シーンその2 助六 動画(11分47秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」 高座シーン モノクロ原画「八雲と助六篇 其の二」より</p>	<p>R014</p> <p>落語シーンその1 八雲 動画(6分43秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」 高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の二」より</p>	<p>R013</p> <p>効果音 その3 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『ITAN』vol.3、講談社、2010年12月)</p>	<p>R012</p> <p>効果音 その2 八雲と助六篇 其の一より</p> <p>モノクロ原画「八雲と助六篇 其の一」より (『ITAN』vol.6、講談社、2011年9月)</p>	<p>R011</p> <p>効果音 その1 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『ITAN』vol.3、講談社、2010年12月)</p>	<p>R010</p> <p>「昭和元禄落語心中」扉 絵ギャラリー2</p> <p>「与太郎放浪篇 其の五」 扉絵原画(2011年)</p>	<p>R009</p> <p>「昭和元禄落語心中」 扉絵ギャラリー1</p> <p>「八雲と助六篇 其の八」 扉絵原画(2013年)</p>
<p>R024</p> <p>「ばらの森にいた頃」 原画5ページ</p>	<p>R023</p> <p>「ばらの森にいた頃」 原画4ページ</p>	<p>R022</p> <p>「ばらの森にいた頃」 原画3ページ</p>	<p>R021</p> <p>「ばらの森にいた頃」 原画2ページ</p>	<p>R020</p> <p>「ばらの森にいた頃」 原画1ページ</p>	<p>R019</p> <p>「ばらの森にいた頃」 表紙原画 雑誌「onBLUE」2012年 vol.6(祥伝社、2012年)</p>	<p>R018</p> <p>「新宿ラッキーホール」 カバー下絵3枚</p>	<p>R017</p> <p>「新宿ラッキーホール」 表紙下絵</p> <p>『新宿ラッキーホール』 (祥伝社、2012年7月)</p>
<p>R032</p> <p>HOMMヨ(オム)関連 イラスト 他</p> <p>HOMMヨチラシ 2種類 HOMMヨチラシ原画 未発表カラーイラスト</p>	<p>R031</p> <p>メガネ男子イラスト</p> <p>『ダ・ヴィンチ』2012年 5月号掲載カラーイラスト 原画</p>	<p>R030</p> <p>落語関連 エッセイ・コラムなど</p> <p>モノクロ原画「KISS」用コラム (KISS14号、講談社、2011年7月) モノクロ原画「ユリイカ」特集* 立川談志用イラストエッセイ(青 土社、2012年1月号)2枚 モノクロ原画「comic スピカ」リ レーエッセイ「原画終わったらア レしたい!」用(comic スピカ16 号、幻冬舎、2013年1月)</p>	<p>R029</p> <p>雲田はる子とばら</p> <p>モノクロ原画 「窓辺の君」p24 モノクロ原画 「ばらの森にいた頃」p6 雲田家お庭のばら写真</p>	<p>R028</p> <p>アシスタント時代</p> <p>『BE・LOVE』2004年1月号 (講談社) 「ピアノシモでささやいて 第二楽章」1~3.6.8*9巻(石 塚夢見、講談社、2004年8 月、8月、2005年1月、11 月、2006年5月、6月)</p>	<p>R027</p> <p>小学生時代の文集 色紙「ハットリシンゾウ」 (忍者ハットリくん) 色紙「ドラえもん」</p>	<p>R026</p> <p>KING of POP ※別紙をご参照ください</p>	<p>R025</p> <p>マンガ関連 ※別紙をご参照ください</p>

●R025

「河童の三平」(水木しげる, 筑摩書房, 1988年6月)
「戦後少女マンガ史」(米沢嘉博, 筑摩書房, 2007年8月)
「マンガの描き方 似顔絵から長編まで」(手塚治虫, 光文社, 1996年7月)
「これでいいのだ 赤塚不二夫自叙伝」(赤塚不二夫, 文藝春秋, 2008年10月)
「石ノ森章太郎のマンガ家入門」(石ノ森章太郎, 秋田書店, 1998年10月)
「まんが道」1巻(藤子不二雄A, 中央公論社, 1996年6月)
「赤塚不二夫1000ページ」(赤塚不二夫, 扶桑社, 1998年12月)
「I LOVE HER」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1993年5月)
「ハニバニ!」1巻(いくえみ綾, 集英社, 2000年9月)
「バラ色の明日」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1997年9月)
「変奏曲」1巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「変奏曲」2巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「動物のお医者さん」1巻(佐々木倫子, 白泉社, 1989年4月)
「トーマの心臓」1巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「トーマの心臓」2巻(萩尾望都, 小学館, 1975年4月)
「トーマの心臓」3巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「大長編ドラえもん4 のびたの海底鬼岩城」(藤子・F・不二雄, 小学館, 1983年6月)
「うる星やつら」1巻(高橋留美子, 小学館, 1980年4月)
「男おいどん」1巻(松本零士, 講談社, 1979年11月)
「キャンディとチョコボンボン」(大矢ちき, 集英社, 1974年10月)
「ここはグリーン・ウッド」1巻(那州雪絵, 白泉社, 1987年1月)
「V-K☆カンパニー」(山口美由紀, 白泉社, 1985年10月)
「荒野の天使ども」1巻(ひかわきょうこ, 白泉社, 1983年12月)
「綿の国星」(大島弓子, 白泉社, 1978年6月)
「ポケットの中の君」(冬野さほ, 集英社, 1993年12月)
「うさぎ月夜に星の船」1巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年3月)
「うさぎ月夜に星の船」2巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年7月)
「うさぎ月夜に星の船」3巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年12月)
「天然コケッコ」1巻(くらもちふさこ, 集英社, 1995年7月)
「スウェイン・イン・ディ・エア」(雁須磨子, スコラ, 1996年12月)
「春を抱いていた」1巻(新田祐克, ビブロス, 1999年4月)
「おかめ日和」(入江喜和, 講談社, 2007年4月)
「冗談新選組」(みなもと太郎, イーストプレス, 2003年12月)
「純情クレイジーフルーツ 続編」1巻(松苗あけみ, 集英社, 1985年11月)
「星の時計のLiddell」1巻(内田善美, 集英社, 1985年9月)
「唇から散弾銃」1巻(岡崎京子, 講談社, 1989年8月)
「唇から散弾銃」2巻(岡崎京子, 講談社, 1990年4月)
「雨宮雪氷」(津野裕子, 青林堂, 1994年8月)
「竹宮恵子のマンガ教室」(竹宮恵子, 筑摩書店, 2001年6月)
「摩利と新吾」1巻(木原敏江, 秋田書店, 1988年1月)
「まんがバカなのだ」赤塚不二夫展 出展作品図録(株式会社フジオ・プロダクション)

●R026

「円山応挙 生涯と作品」(樋口一貴, 東京美術, 2013年3月)
「歌川国芳 生涯と作品」(恵俊彦, 東京美術, 2008年3月)
「伊藤若冲 生涯と作品」(佐藤康宏, 東京美術, 2011年7月)
「色川武大1929-1989」(筑摩書房, 1991年5月)
「Snap」(ビクターブックス, 2001年12月)
DVD「落語研究会 柳家小三治全集」
(小学館, 株式会社ソニー・ミュージックダイレクト, 2007年9月)
DVDBOX「傷だらけの天使」1巻(日本テレビ, 東宝テレビ部, 2001年7月)
DVD「枝雀 落語大全」第一集(TBS, 関西テレビ, 2002年)



雲田はるこ略歴

栃木県出身。2002年ごろから趣味でマンガを描き始める。
アシスタント経験を経て、2008年「窓辺の君」にて商業誌デビュー(東京漫画社/カタログシリーズVOL.12掲載)、男性同士の恋愛ファンタジーであるBL(ボーイズ・ラブ)ジャンルでの活動を開始。
2009年初単行本「窓辺の君」を刊行。BLの代表作に「いとしの猫っ毛」シリーズ(リブレ出版)、「新宿ラッキーホール」(祥伝社)がある。
2010年「ITAN」(講談社)創刊零号より「昭和元禄落語心中」を連載開始。
同作で、2014年、第17回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞、
同年第38回講談社漫画賞一般部門受賞。三浦しをんの小説「舟を編む」挿絵(2011年)、「ユリイカ特集BLオンザラン!」(2012年)表紙、評論本「マンガと音楽の甘い関係」(高野麻衣/2013年)表紙など、さまざまな方面のイラストの仕事も注目に値する。



壁展示

「昭和元禄落語心中」 B2 パネル 3 枚

「昭和元禄落語心中」 カラーイラスト原画 6 枚

モノクロ原画・下絵 7 枚

ネームノート 1 冊

「昭和元禄落語心中」 名台詞・名シーン B3 パネル 7 枚

高座風セット

テーブル型ケース展示

「船を編む」 カラー原画 10 枚

「船を編む」 モノクロ原画 1 枚

書籍『船を編む』（三浦しをん, 光文社, 2011 年 9 月）

書籍『ユリイカ』2012 年 3 月号（青土社, 2012 年 2 月）

三浦しをんコラム抜粋（『on BLUE』2011 年 vol. 6, 祥伝社）

台付ケース

文化庁メディア芸術祭 受賞トロフィー

色紙

映像展示

「昭和元禄落語心中」 プロモーション映像

雲田はるこ先生によるカラーイラスト制作風景

カラー原画（書き下ろし, 2014 年）/ネームノート複製ファイル 2 冊

展示期間

期間：6月6日（金）～9月28日（日）

第一期：6月6日（金）～7月7日（月） / 第二期：7月11日（金）～8月4日（月）

第三期：8月7日（金）～9月8日（月） / **第四期：9月12日（金）～9月28日（日）**

休館日：毎週火・水・木曜（ただし祝日は開館）

※特別整理などで休館する場合があります。当館 HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

関連トークイベント

■「落語聴こうぜ！」 明治大学・まんが王国とっとり連携講座

出演：桂まん我

日時：2014 年 1 月 25 日（土） 17：00～18：30

場所：明治大学グローバルフロント多目的室

料金：無料 ※事前申込制。9 月 3 日（水）10：30 より申込開始。

※申し込みは締め切りました。

※スケジュール・内容については変更の可能性があります。

米沢嘉博記念図書館

2014 年度 第 1 回 企画コーナー展示品リスト

文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞記念展

『昭和元禄落語心中』と雲田はるこ ～落語に行こうぜ！～

展示期間

6月6日（金）～9月28日（日）

第一期：6月6日（金）～7月7日（月）

第二期：7月11日（金）～8月4日（月）

第三期：8月7日（金）～9月8日（月）

第四期：9月12日（金）～9月28日（日）

主催

明治大学 米沢嘉博記念図書館

協力

講談社

「昭和元禄落語心中」は、2010年より『ITAN』誌で連載されている、現在最も注目を集めている落語マンガです。同作は高評を得て、昨年度の文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。

「昭和元禄落語心中」は作中での落語シーンから、囃の見所をあえて外してみたりしています。それで本物の落語の続きを見たくなって、生の落語を聞きに行つて頂けたらなと思っております。

（雲田はるこ）

この言葉の通り、本作には読む者を落語に行きたくさせる力があります。雲田の作品群を見渡すと、その題材やジャンルを問わず、物語の展開やキャラクターに対する興味だけでなく、描かれた題材自体について関心をかきたてる力をそれぞれ宿しています。表紙挿絵やイラストカットなど、マンガ以外の作品においてもそれは変わりません。

本展示では、「昭和元禄落語心中」を中心に、カラー原画をはじめとする貴重な資料をジャンル別に展示しました。雲田作品の持つ魅力を感じとっていただければ幸いです。

<p>R008</p> <p>表紙担当書籍</p> <p>『ライトBLへようこそ』(桜雲社/編 アスペクト, 2012年)/『ユリイカ』2013年12月号(青土社, 2013年12月)/『ダメBL』(ブックマン, 2011年11月)/『マンガと音楽の甘い関係』(高野麻衣, 太田出版, 2013年1月)/『書店男子』(リブレ, 2013年9月)/『萌え男子がたり』2(ブックマン2010年12月)</p>	<p>R007</p> <p>表紙担当雑誌原画</p> <p>「ライトBLへようこそ」原画(2012年)</p>	<p>R006</p> <p>表紙担当雑誌原画</p> <p>「BE BOY GOLD」2013年12月号原画(2013年)</p>	<p>R005</p> <p>表紙担当雑誌</p> <p>『窓辺の君』(東京漫画社, 2009年5月)/『野ばら』(東京漫画社, 2010年7月)/『新宿ラッキーホール』(祥伝社, 2012年7月)/『いとしの猫っ毛』1~3巻(リブレ, 2011年~2014年)/『まるごとねこっけ』(いとしの猫っ毛)トリビュートブック』(リブレ, 2014年4月)/『ぼろ』2011年4月号(雑草社, 2011年2月)/『Cab』2010年VOL.7(東京漫画社, 2010年5月)/『シトロン』vol.3, vol.13, vol.19(リブレ, 2010年7月, 2012年3月, 2013年5月)/『onBLUE』vol.6(祥伝社, 2012年7月)/『ビーボーイゴールド』2013年12月号(リブレ, 2013年)</p>	<p>R004</p> <p>「昭和元禄落語心中」単行本</p> <p>『昭和元禄落語心中』1-6巻(雲田はるこ, 講談社, 2011年7月, 2012年1月10月, 2013年6月, 2014年2月, 2014年8月)</p> <p>『昭和元禄落語心中』4巻特装版(雲田はるこ, 講談社, 2013年6月)</p>	<p>R003</p> <p>「TITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『TITAN』11.15-19号(講談社, 2013年4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2014年2月)</p>	<p>R002</p> <p>「TITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『TITAN』7-10.12-14号(講談社, 2011年9月, 12月, 2012年3月, 6月, 9月, 12月, 2013年2月)</p>	<p>R001</p> <p>「TITAN」と「昭和元禄落語心中」</p> <p>『TITAN』零-6号(講談社, 2010年03月, 6月, 9月, 12月, 2011年3月, 6月)</p>
<p>R016</p> <p>落語シーンその3 与太郎 動画(5分6秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より</p>	<p>R015</p> <p>落語シーンその2 助六 動画(11分47秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」高座シーン モノクロ原画「八雲と助六篇 其の二」より</p>	<p>R014</p> <p>落語シーンその1 八雲 動画(6分43秒)</p> <p>IPad 動画「昭和元禄落語心中」高座シーン モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の二」より</p>	<p>R013</p> <p>効果音 その3 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『TITAN』vol.3, 講談社, 2010年12月)</p>	<p>R012</p> <p>効果音 その2 八雲と助六篇 其の一より</p> <p>モノクロ原画「八雲と助六篇 其の一」より (『TITAN』vol.6, 講談社, 2011年9月)</p>	<p>R011</p> <p>効果音 その1 与太郎放浪篇 其の四より</p> <p>モノクロ原画「与太郎放浪篇 其の四」より (『TITAN』vol.3, 講談社, 2010年12月)</p>	<p>R010</p> <p>「昭和元禄落語心中」扉絵ギャラリー-2</p> <p>「与太郎放浪篇 其の五」扉絵原画(2011年)</p>	<p>R009</p> <p>「昭和元禄落語心中」扉絵ギャラリー-1</p> <p>「八雲と助六篇 其の八」扉絵原画(2013年)</p>
<p>R024</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 裏表紙原画</p>	<p>R023</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 プロローグ 原画 6ページ</p>	<p>R022</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 プロローグ 原画 5ページ</p>	<p>R021</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 プロローグ 原画 4ページ</p>	<p>R020</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 プロローグ 原画 3ページ</p>	<p>R019</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 プロローグ 原画 2ページ</p>	<p>R018</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 プロローグ 原画 1ページ</p>	<p>R017</p> <p>「いとしの猫っ毛」小樽編 表紙原画</p> <p>『いとしの猫っ毛 小樽編』(リブレ, 2013年)</p>
<p>R032</p> <p>河内遥による色紙2枚(2014年)</p>	<p>R031</p> <p>メガネ男子イラスト</p> <p>『ダ・ヴィンチ』2012年5月号掲載カラーイラスト原画</p>	<p>R030</p> <p>落語関連 エッセイ・コラムなど</p> <p>モノクロ原画「KISS」用コラム(KISS14号, 講談社, 2011年7月) モノクロ原画「ユリイカ」特集*立川談志用イラストエッセイ(青土社, 2012年1月号)2枚 モノクロ原画「comic スピカ」リレーエッセイ「原画終わったらアレしたい!」用(comic スピカ16号, 幻冬舎, 2013年1月)</p>	<p>R029</p> <p>雲田はる子とばら</p> <p>モノクロ原画「窓辺の君」p24 モノクロ原画「ばらの森にいた頃」p6 雲田家お庭のばら写真</p>	<p>R028</p> <p>アシスタント時代</p> <p>『BE・LOVE』2004年1月号(講談社) 「ピアノシモでささやいて 第二楽章」1~3.6.8~9巻(石塚夢見, 講談社, 2004年8月, 8月, 2005年1月, 11月, 2006年5月, 6月)</p>	<p>R027</p> <p>小学生時代の文集 色紙「ハットリシンゾウ」(忍者ハットリくん) 色紙「ドラえもん」</p>	<p>R026</p> <p>KING of POP</p> <p>※別紙をご参照ください</p>	<p>R025</p> <p>マンガ関連</p> <p>※別紙をご参照ください</p>

●R025

「河童の三平」(水木しげる, 筑摩書房, 1988年6月)
「戦後少女マンガ史」(米沢嘉博, 筑摩書房, 2007年8月)
「マンガの描き方 似顔絵から長編まで」(手塚治虫, 光文社, 1996年7月)
「これでいいのだ 赤塚不二夫自叙伝」(赤塚不二夫, 文藝春秋, 2008年10月)
「石ノ森章太郎のマンガ家入門」(石ノ森章太郎, 秋田書店, 1998年10月)
「まんが道」1巻(藤子不二雄A, 中央公論社, 1996年6月)
「赤塚不二夫1000ページ」(赤塚不二夫, 扶桑社, 1998年12月)
「I LOVE HER」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1993年5月)
「ハニバニ!」1巻(いくえみ綾, 集英社, 2000年9月)
「バラ色の明日」1巻(いくえみ綾, 集英社, 1997年9月)
「変奏曲」1巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「変奏曲」2巻(竹宮恵子, 朝日ソノラマ, 1980年3月)
「動物のお医者さん」1巻(佐々木倫子, 白泉社, 1989年4月)
「トーマの心臓」1巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「トーマの心臓」2巻(萩尾望都, 小学館, 1975年4月)
「トーマの心臓」3巻(萩尾望都, 小学館, 1975年6月)
「大長編ドラえもん4 のびたの海底鬼岩城」(藤子・F・不二雄, 小学館, 1983年6月)
「うる星やつら」1巻(高橋留美子, 小学館, 1980年4月)
「男おいどん」1巻(松本零士, 講談社, 1979年11月)
「キャンディとチョコボンボン」(大矢ちき, 集英社, 1974年10月)
「ここはグリーン・ウッド」1巻(那州雪絵, 白泉社, 1987年1月)
「V-K☆カンパニー」(山口美由紀, 白泉社, 1985年10月)
「荒野の天使ども」1巻(ひかわきょうこ, 白泉社, 1983年12月)
「綿の国星」(大島弓子, 白泉社, 1978年6月)
「ポケットの中の君」(冬野さほ, 集英社, 1993年12月)
「うさぎ月夜に星の船」1巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年3月)
「うさぎ月夜に星の船」2巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年7月)
「うさぎ月夜に星の船」3巻(萩岩睦美, 集英社, 1987年12月)
「天然コケッコ」1巻(くらもちふさこ, 集英社, 1995年7月)
「スウェイン・イン・ディ・エア」(雁須磨子, スコラ, 1996年12月)
「春を抱いていた」1巻(新田祐克, ビブロス, 1999年4月)
「おかめ日和」(入江喜和, 講談社, 2007年4月)
「冗談新選組」(みなもと太郎, イーストプレス, 2003年12月)
「純情クレイジーフルーツ 続編」1巻(松苗あけみ, 集英社, 1985年11月)
「星の時計のLiddell」1巻(内田善美, 集英社, 1985年9月)
「唇から散弾銃」1巻(岡崎京子, 講談社, 1989年8月)
「唇から散弾銃」2巻(岡崎京子, 講談社, 1990年4月)
「雨宮雪氷」(津野裕子, 青林堂, 1994年8月)
「竹宮恵子のマンガ教室」(竹宮恵子, 筑摩書店, 2001年6月)
「摩利と新吾」1巻(木原敏江, 秋田書店, 1988年1月)
「まんがバカなのだ」赤塚不二夫展 出展作品図録(株式会社フジオ・プロダクション)

●R026

「円山応挙 生涯と作品」(樋口一貴, 東京美術, 2013年3月)
「歌川国芳 生涯と作品」(恵俊彦, 東京美術, 2008年3月)
「伊藤若冲 生涯と作品」(佐藤康宏, 東京美術, 2011年7月)
「色川武大1929-1989」(筑摩書房, 1991年5月)
「Snap」(ビクターブックス, 2001年12月)
DVD「落語研究会 柳家小三治全集」
(小学館, 株式会社ソニー・ミュージックダイレクト, 2007年9月)
DVDBOX「傷だらけの天使」1巻(日本テレビ, 東宝テレビ部, 2001年7月)
DVD「枝雀 落語大全」第一集(TBS, 関西テレビ, 2002年)



雲田はるこ略歴

栃木県出身。2002年ごろから趣味でマンガを描き始める。

アシスタント経験を経て、2008年「窓辺の君」にて商業誌デビュー(東京漫画社/カタログシリーズVOL.12掲載)、男性同士の恋愛ファンタジーであるBL(ボーイズ・ラブ)ジャンルでの活動を開始。

2009年初単行本「窓辺の君」を刊行。BLの代表作に「いとしの猫っ毛」シリーズ(リブレ出版)、「新宿ラッキーホール」(祥伝社)がある。

2010年「ITAN」(講談社)創刊零号より「昭和元禄落語心中」を連載開始。

同作で、2014年、第17回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞、

同年第38回講談社漫画賞一般部門受賞。三浦しをんの小説「舟を編む」挿絵(2011年)、「ユリイカ特集BLオンザラン!」(2012年)表紙、評論本「マンガと音楽の甘い関係」(高野麻衣/2013年)表紙など、さまざまな方面のイラストの仕事も注目に値する。

